エコアクション２１

環境経営レポート

【第４３期】

［令和４年７月１日～令和５年６月３０日］

SINCE 1954

株式会社ハイナン

☆ごあいさつ☆

　環境問題は、温暖化防止を中心に全世界での問題となっており、環境配慮の経営は企業の社会的責任として強く求められています。
株式会社ハイナンは、「顧客の信頼こそ、我社の繁栄なり」を経営理念とし、総合解体及び廃棄物処理業者として、解体工事から廃棄物処理までの一括安心施工を行い地域の皆様のご協力の下に歩んできました。
ＥＡ２１を全社運動として、よりいっそう環境経営に力を注いでいきます。
地球環境を最重要課題とし、環境関連法規制の遵守・資源の有効活用・地域との環境・調和を図り、地球と地域の環境保全を目指した事業展開こそが当社の使命と捉え日々努めていきます。

～～　目　次　～～

＝【 Plan 】＝

１．組織の概要 ・・ P.1

２．対象範囲 ・・・ P.6

３．環境経営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.9

４．環境経営目標・・ P.10

５．環境経営計画・・ P.11

＝【 Do 】＝

６．環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制を含む)・・・・・・・・・・・・・・・・ P.12

＝【 Check 】＝

７．環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・ P.15

８．環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画・・・・・・・・・・・ P.23

９．環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無・・・ P.26

＝【 Action 】＝

１０．代表者による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.27

1. 組織の概要

1-1. 事業所名及び代表者名

【事業所名】　株式会社ハイナン

【代表者名】　代表取締役　畑 大介

1-2. 事業所及び所在地

【本社／工事部／営業部】　静岡県牧之原市静波１２１番地

【静岡営業所】　静岡県静岡市駿河区敷地２丁目２１－１

【佐倉営業所】　静岡県御前崎市佐倉３４６５―６

【環境事業部 第１プラント】　静岡県牧之原市勝間１３５５―５

【環境事業部 第２プラント】　静岡県牧之原市勝間１３５５－２

＜本社＞

＜静岡営業所＞

＜佐倉営業所＞

＜第１プラント＞

＜第２プラント＞

＜第１プラント＞

1-3. 法人設立年月日・資本金・売上高

【設立年月日】　昭和５５年(1980 年) ７月１日
【資　本　金】　２，０００万円
【売　上　高】　１，７５１百万円／年（第 43 期：R4 年度）

1-4. 事業の概要

【本社】特定建設業
・総合解体／設計／施工　　・はつり、カッター、コアボウリング
・ＲＣ、ＰＣ橋梁撤去工事　・土木工事、盛土造成工事
【環境事業部】
・産業廃棄物収集運搬　・一般廃棄物収集運搬業
・中間処理業　　・リサイクル砕石販売

1-5. 事業の規模

【　全　社　】（人員は役員・パート・研修生を含む）

	第 41 期(R2 年度)	第 42 期(R3 年度)	第 43 期(R4 年度)
売上高	１，５２３/百万円	１，６０３/百万円	１，７５１/百万円
従業員数	５８人	５９人	５６人

【環境事業部】（人員は役員・パート・研修生を含む）

	第 41 期(R2 年度)	第 42 期(R3 年度)	第 43 期(R4 年度)
売上高	３５９/百万円	３９０/百万円	２９５/百万円
従業員数	２７人	２８人	２６人
面積	１０，２３０㎥	１０，２３０㎥	１０，２３０㎥
一般廃収集運搬	２．７０ｔ	３．３０ｔ	２．６０ｔ
産廃収集運搬	３８，３５９ｔ	３９，５５０ｔ	２３，８２２ｔ
産廃中間処理	５２，６８９ｔ	５８，８７１ｔ	４９，７５８ｔ

【保有重機】

種別	機械名称	仕様・能力	台数	備考
重機	油圧ショベル	バケット 1.40 ㎥	4	
	油圧ショベル	バケット 0.8 ㎥	5	
	油圧ショベル	バケット 0.5 ㎥	2	
	油圧ショベル	バケット 0.28 ㎥	2	
	油圧ショベル	バケット 0.14 ㎥	2	
	ホイルローダ	バケット 3.4 ㎥	1	
	ホイルローダ	バケット 3.0 ㎥	1	
	フォークリフト	最大荷重 3.0t	2	
	フォークリフト	最大荷重 2.5t	1	

【保有アタッチメント】

種別	機械名称	仕様・能力	台数	備考
アタッチメント	小割圧砕機		11	
	大割圧砕機		1	
	ＳＲＣ解体機		4	
	油圧旋回式カッター		1	
	鉄骨カッター		1	
	全旋回式グラップル		1	
	グラップル		3	
	ウルトラドリル		2	
	薄型マグネット		1	

【保有車両】

種別	機械名称	仕様・能力	台数	備考
車両	ダンプ	１０ｔ	2	
	ダンプ	２ｔ	2	
	キャブオーバー	３．５ｔユニック	2	
	キャプオーバー	２tWキャブ	1	
	キャプオーバー	軽トラック	1	
	コンテナ専用車	１２ｔフックロール	1	
	コンテナ専用車	８ｔフックロール	1	
	コンテナ専用車	４ｔフックロール	3	
	コンテナ専用車	３ｔフックロール	1	
	散水車		1	
	他 社有車		25	

【産業廃棄物処理品目及び施設能力】

施設名	処理品目	処理能力
破砕施設１	がれき類	３２０ｔ／日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	３２０ｔ／日
破砕施設２	木くず	４．５３ｔ／日
破砕施設３	廃プラスチック類	４．２０ｔ／日
	金属くず	６．９９ｔ／日
	繊維くず	５．１５ｔ／日
破砕施設４（廃石膏ボード）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	３．８０ｔ／日
	紙くず	１．００ｔ／日
圧縮施設１	廃プラスチック類	３．７６ｔ／日
	紙くず	７．６８ｔ／日
圧縮施設２	金属くず	１．２４ｔ／日

1-6. 環境管理責任者

【環境管理責任者】　廃棄物対策室：中山豊志

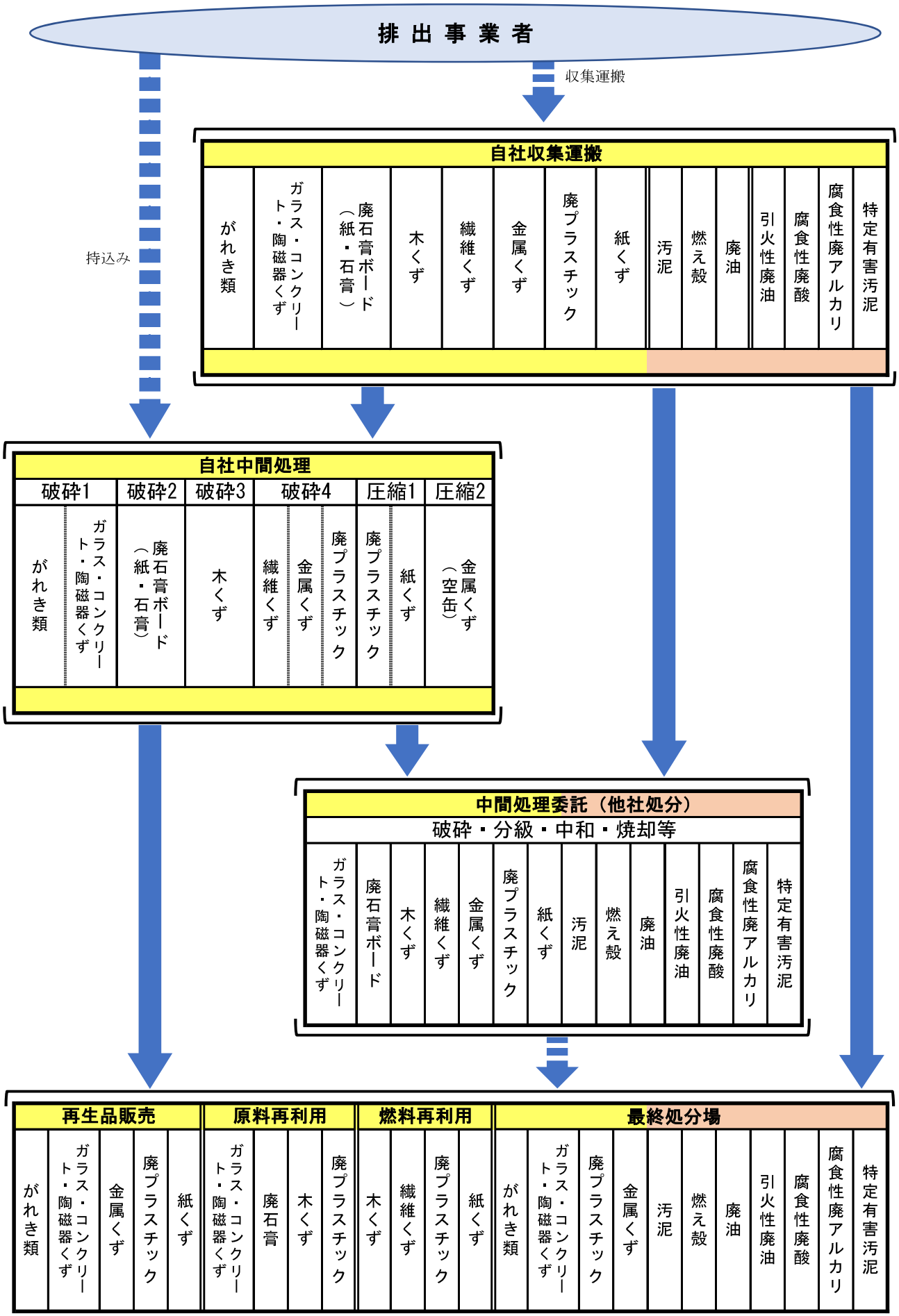
【連　　絡　　先】　TEL：0548-28-0005　　FAX：0548-28-0882

1-7. 加盟団体

【団体名】　公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会

静岡県解体工事業協会

1-8. 産業廃棄物処理工程図



2. 対象範囲

2-1. 許可及び届出一覧表

【本社：建設業】

一般建設業又は特定建設業の別	建設業許可	許可番号	許可年月日	有効年月日
特定建設業	解体工事業	静岡県知事許可 (特-30)第 18565 号	H31 年 3 月 25 日	R6 年 3 月 25 日
特定建設業	とび・ 土工工事業	静岡県知事許可 (特-30)第 18565 号	H31 年 3 月 25 日	R6 年 3 月 25 日
特定建設業	土木工事業	静岡県知事許可 (般-30)第 18565 号	H31 年 3 月 25 日	R6 年 3 月 25 日

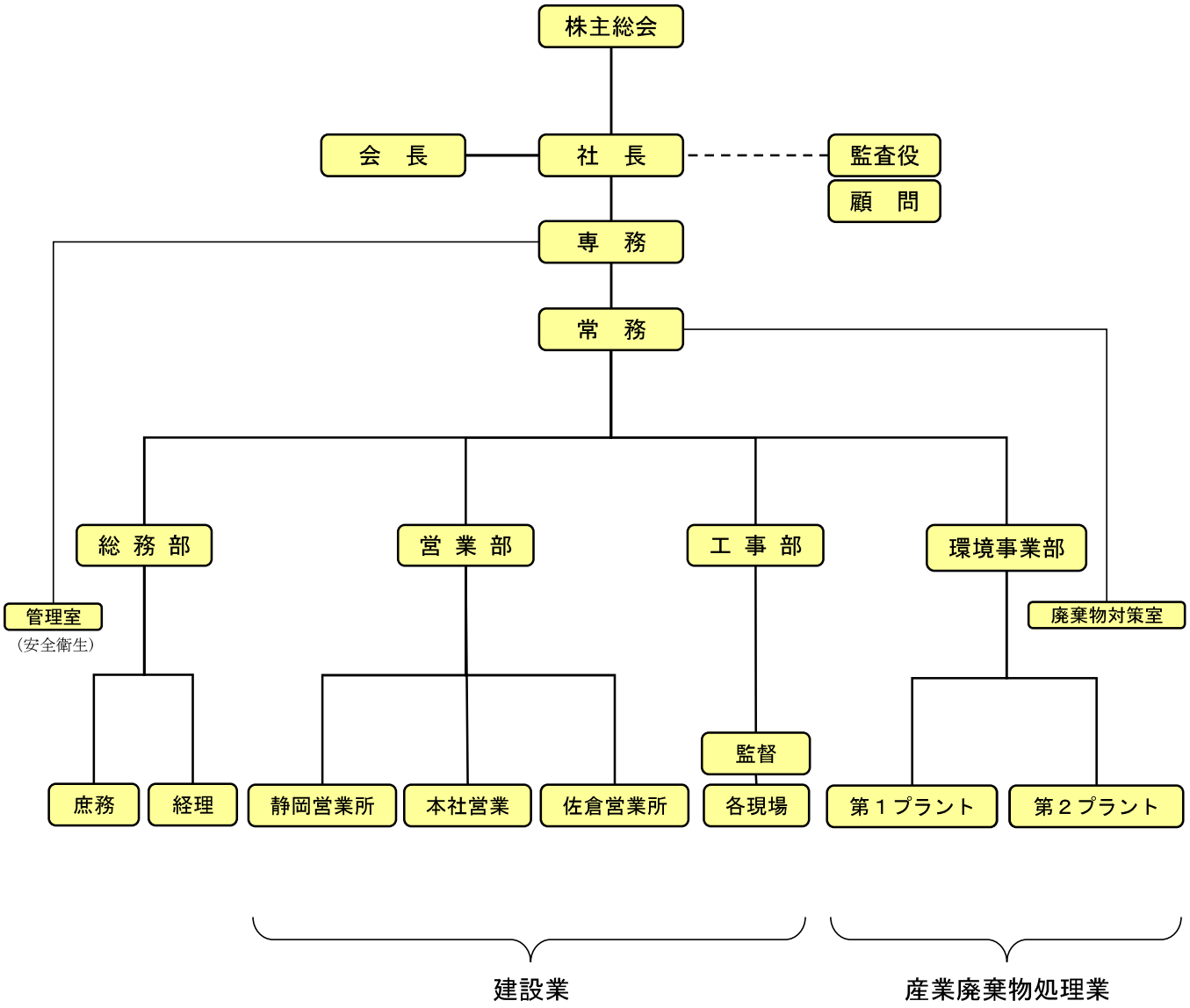
【環境事業部：廃棄物処分業・廃棄物収集運搬業】

許可内容		許可番号	許可年月日	有効年月日
静岡県	産業廃棄物処分業 ・破砕、圧縮 **〈優良認定〉**	第 02221028668 号	R3 年 4 月 5 日	R10 年 4 月 4 日
	産業廃棄物収集運搬業	第 02201028668 号	R3 年 4 月 5 日	R8 年 4 月 4 日
	特別管理 産業廃棄物収集運搬業	第 02251028668 号	R4 年 11 月 8 日	R9 年 11 月 7 日
東京都	産業廃棄物収集運搬業	第 1300028668 号	H31 年 4 月 27 日	R6 年 4 月 26 日
神奈川県	産業廃棄物収集運搬業	第 01405028668 号	R 元年 7 月 10 日	R6 年 5 月 14 日
山梨県	産業廃棄物収集運搬業	第 0190028668 号	R 元年 5 月 15 日	R6 年 5 月 14 日
愛知県	産業廃棄物収集運搬業	第 02300028668 号	R5 年 1 月 23 日	R10 年 1 月 10 日
牧之原市	一般廃棄物収集運搬業	許可第 23-18 号	R4 年 3 月 10 日	R6 年 3 月 9 日
吉田町	一般廃棄物収集運搬業	許可第 23-10 号	R4 年 4 月 1 日	R6 年 3 月 31 日

【廃棄物処分業及び行政区域別収集運搬取扱い品目一覧表】

			中間処理		収集運搬						
			破砕	圧縮	静岡県	東京都	神奈川県	山梨県	愛知県	牧之原市	吉田町
一般廃棄物										●	●
廃プラスチック類			●	●	●	●	●	●	●		
金属くず			●	●	●	●	●	●	●		
紙くず			●	●	●	●	●	●	●		
木くず			●		●	●	●	●	●		
繊維くず			●		●	●	●	●	●		
がれき類			●		●	●	●	●	●		
ガラス・コンクリート・陶磁器くず			●		●	●	●	●	●		
汚泥					●				●		
燃え殻					●						
廃油					●						
特別管理産業廃棄物	引火性廃油				●						
	腐食性廃酸				●						
	腐食性廃アルカリ				●						
	特定有害	特定有害汚泥			●						
		特定有害廃石綿等			●						

2-2. 株式会社ハイナン組織図（全活動を対象）



2-3. ＥＡ２１環境経営レポートの対象期間及び発行日

◆対象期間：令和4年7月1日～令和5年6月30日

◆発　効　日：令和5年8月30日

3. 環境経営方針

株式会社ハイナンは、総合解体及び廃棄物処理業者として、地域の皆様に支えられてきました。
地球環境を重要課題と捉え、環境関連法規を遵守しつつ、限りある資源を有効活用し、地域と環境・調和を図ることにより、地域と地球の環境保全に努めます。
また、弊社の SDGs 宣言の取り組みの中のゴールの一つに

「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」

を掲げ、環境保全活動は全社的な活動と位置付けています。

1．環境に関連する法規制を遵守します。
2．環境活動の目標（Ｃｏ２・廃棄物の削減、節水，再資源化率の向上）を掲げ、
　グリーン購入・省エネルギー・廃棄物のリサイクルに取り組みます。
3．地域社会の環境と調和を図るため、地域住民から信頼される施工、施設運営・管理を行います。
4．この環境経営方針を各事業所に掲示し、全社員に周知させ、全社員が一丸となり積極的に環境活動に取り組み、継続的改善を行なっていきます。

令和４年７月１日

株式会社ハイナン
代表取締役　畑 大介

4. 環境経営目標（中期３ヶ年計画：３年目）

項目	区分	単位	基準値 ※1	中期3ヶ年計画 (0.6% 減)	目標 第41期 (0.2% 減) R2年度 7月～6月	第42期 (0.4% 減) R3年度 7月～6月	第43期 (0.6% 減) R4年度 7月～6月
購入電力	本社	kWh	46,086	45,809	45,994	45,902	45,809
	環境	kWh	156,035	155,099	155,723	155,411	155,099
	全 社	kWh	202,121	200,908	201,717	201,313	200,908
化石燃料	本社	ℓ	196,098	194,921	195,706	195,314	194,921
	環境	ℓ	162,655	161,679	162,330	162,004	161,679
	全 社	ℓ	358,753	356,600	358,036	357,318	356,600
CO2	本社	kg-CO2	524,877	521,728	523,827	522,777	521,728
	環境	kg-CO2	493,924	490,960	492,936	491,948	490,960
	全 社	kg-CO2	1,018,801	1,012,688	1,016,763	1,014,725	1,012,688
水資源	本社	㎥	222.0	220.7	221.6	221.1	220.7
	環境	㎥	1558.0	1,548.7	1,554.9	1,551.8	1,548.7
	全 社	㎥	1780.0	1769.4	1776.5	1772.9	1769.4
再資源化率	工事	%	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
再資源化率	環境	%	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
エコ製品購入	全 社	個（品目）	3	9	3	3	3

※1：基準値は、第40期(令和元年度)環境レポートの「7-2.環境経営目標」に記載した第38期～第40期(H29年度～R元年度)の平均実績値に基づきます。

5. 環境経営計画

1．二酸化炭素排出量の削減

(1)購入電力の削減【3年間で0.6%削減を目標】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
冷房温度設定を28℃以上に、暖房設定温度を23℃以下にする	全社	→	→	→		社内統一（冷:7～9月、暖:11～3月）
各事務所の蛍光灯を間引くと共に順次LED化	全社				→	全社・関係部署に周知徹底
自動販売機を省エネルギータイプに変更する	本社、環境				→	全社・関係部署に周知徹底
デマンド器活用による電力ピークカット	環境				→	全社・関係部署に周知徹底
トイレ灯等の消し忘れ防止推進及び人感スイッチの導入	本社、環境				→	全社・関係部署に周知徹底
夏季のクールビズ、冬季のウォームビズを導入（全社員、来客者）	全社	C →	→	W →	C →	C:5～9月、W:11～3月

(2)化石燃料の削減【3年間で0.6%削減を目標】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
アイドリングSTOPの励行（降車時はエンジンを止める）	全社				→	全社・関係部署に周知徹底
エコドライブの励行 「法廷速度遵守、急発進・急ブレーキ抑制」	全社				→	全社・関係部署に周知徹底
エコカーへ順次入替え（社有車入替えはハイブリッド車等に変更）	全社				→	全社・関係部署に周知徹底
重機の一部に天然ガス由来のGTL燃料を使用	工事部				→	全社・関係部署に周知徹底
ドライブレコーダの録画画像でエコドライブ・安全運転のチェック	全社				→	※所属長がチェック実施

2．水資源の削減

【3年間で0.6%削減を目標】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
リサイクルプラントの防塵散水には農業用水を利用	環境				→	環境事業部に周知徹底
砕石プラントの防塵給水量を適正最少量に調整	環境				→	環境事業部に周知徹底

3．再資源化率の維持・向上

【再資源化率90%以上維持を目標】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
リサイクル率の向上	工事、環境				→	関係部署に周知徹底
排出事業者への分別排出の推奨・提案	工事、営業 環境				→	関係部署に周知徹底
廃棄物と有価物の分別。	工事、環境				→	関係部署に周知徹底
雑紙・新聞紙・段ボール等の古紙のリサイクル推進	総務、環境				→	関係部署に周知徹底
エコキャップ運動の推進	総務、工事 営業				→	※総務部にて集計

4．グリーン購入

【リサイクル商品・省エネ商品の積極的使用】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
エコマーク商品・省エネ商品の積極的購入（3品目以上追加／年）	総務				→	総務部に周知徹底・実施

5．地域住民から信頼される設備管理・運営

【リサイクル商品・省エネ商品の積極的購入】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
点検表による施設・重機・車両の事前点検・トラブルのチェック	工事、環境				→	関係部署に周知徹底
設備の定期的な総点検チェック	工事、環境				→	関係部署に周知徹底
解体工事着工前に近隣への挨拶回り及び説明	工事、営業				→	関係部署に周知徹底
プラント周辺・解体現場の粉塵防止の為、定期的に散水	工事、環境				→	関係部署に周知徹底
整理・整頓・清掃の徹底。3Sチェックシートの月次記入・報告・・・全社員	全社				→	※担当者が定例会にて報告
プラント周辺道路側道の草刈り	環境				→	年1回実施（5月）
相良海岸の清掃奉仕活動・・・朋友会(社員会)、有志	全社		→			年1回実施（11月）

6．全社共通目標：【整理】【整頓】【清掃】

上記目標は“安全運転”“安全作業”の基本として、全社員の共通目標とする。

・ＥＡ２１各部担当者は、所属部署の３Ｓ状況をチェックし、毎月ＥＡ２１担当者会議で報告する。

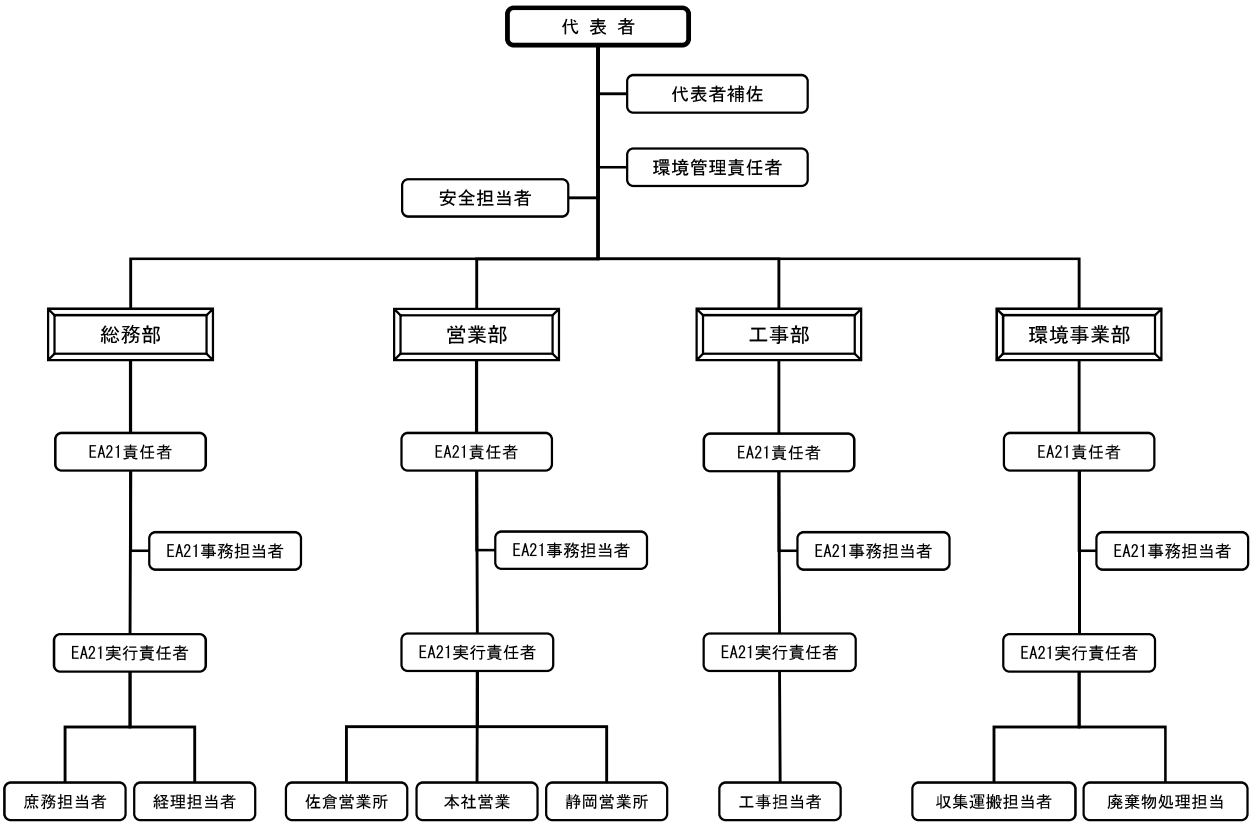
・状況に応じて、ＥＡ２１各部担当者より部署会で改善・是正を勧告する。

7．ＳＤＧs宣言

ゴールの一つに『エネルギーをみんなに、そしてクリーンに』を掲げ、環境経営活動は全社的な活動と位置付ける。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制を含む）

6-1. ＥＡ２１実施体制（組織・役割・権限・責任）



内 容	氏 名	役 割	権限及び責任
代表者	畑 大介（社長）	・環境管理責任者の任命責任。 ・環境方針の策定。 ・取組み結果を評価して基本的方向を明示する。 ・経営資源の準備。	・EA21の全社的な運用の指示及び責任。
代表者補佐	畑 設司（会長） 寺田 豊（専務） 畑 洋子（常務）	・代表者に代わり活動内容の見直し・指示する。	・代表者に代わり活動内容の見直し・指示。
環境管理責任者	中山豊志	・全社EA21の構築及び運用に関し代表者へ助言及び活動計画の立案と実施する。 ・EA21の啓蒙を図る。 ・環境経営レポート等の作成 ・更新審査、中間審査	・代表者に代わりEA21の構築及び運用。 ・各担当者及びEA21責任者等へ活動計画実施の指示。
安全担当者	藤波省雄	・現場環境の安全を守ること。 ・危険防止のため巡回しながら点検する。 ・労働災害が発生した場合は原因究明と対策 ・安全管理教育や防災・避難訓練、緊急事態訓練等の実施	・安全衛生の基本方針や社内ルール、全従業員への周知や環境設備を改善。 ・安全管理に関する資料の作成。
EA21責任者	総務：佐野部長 営業：河合部長 工事：遠藤部長 環境：平野部長	・各部の活動計画の立案と実施する。 ・部署会にて問題点の検討を図る。	・各部EA21の構築及び運用。 ・各担当責任者への活動計画実施の指示。
EA21事務担当者	総務：池ヶ谷係長 営業：藤田真成 工事：磯崎由紀江 西谷雄哉（現場） 環境：鈴木係長（P1） 小林芳幸（P2）	・各部のEA21関連項目のデータ取りまとめ。 ・月次で行われるEA21ミーティングに出席し、進捗状況を環境管理責任者へ報告する。 ・部署会を通じて進捗状況の報告と問題点・活動内容の検討を提起する。	・各部EA21責任者へ進捗状況報告及び助言
EA21実行責任者	各現場責任者	・各部活動計画の推進	・各担当者へ活動計画実施の指示。
実践者		・活動計画の実践	

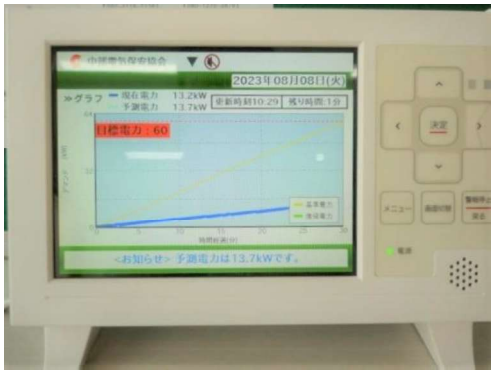
※事務担当者は、環境管理責任者主催の事務担当者会議（1回／月）に出席する。・・・当月の状況報告及び問題点の提起、是正方法の検討。

※環境管理責任者は、事務担当者会議の議事録をまとめ、各部責任者が出席する定例幹部会（1回／月）にて報告を行う。

※事務担当者は、部署会議（各部の連絡会議：1回／月）にて前月の結果を報告、今月の問題点・取組み内容を検討する。

6-2. 環境経営計画に基づき実施している取組内容の事例

1. 二酸化炭素排出量の削減



デマンド器導入により電気使用量のデータを取り、消費電力のピークカットを行なっています。

蛍光灯を間引いています。更に切れたものから LED に交換しています。

太陽光熱温水器を取り付け、その温水を手洗い・洗い物に使用しています。

社用車を順次ハイブリッドカー及びエコカーに入れ替えています。

2. 再資源化率の維持・向上

事務所から排出される雑誌・新聞紙・包装紙・コピー用紙のリサイクルを実施しています。

3. ペットボトルキャップ回収運動

4. 地域住民から信頼される設備管理・運営

リサイクルプラント施設の周辺道路の草刈り・側溝清掃を行ないました。

近隣小学校の生徒を招待して「はたらく車」の見学会を実施しました。（現場及び学校訪問）

7. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

7-1. 第43期(R4年度) 環境経営目標の実績と評価

項目	区分	単位	基準値 ※1	第43期実績 （3ヶ年計画の3年目） 目標 (0.6% 減)	実績	削減値 (実績-基準)	削減率 (削減/基準)	評価
購入電力	本社	kWh	46,086	45,809	45,709	−377	−0.82%	○
	環境	kWh	156,035	155,099	154,147	−1,888	−1.21%	◎
	全 社	kWh	202,121	200,908	199,856	−2,265	−1.12%	○
化石燃料	本社	ℓ	196,098	194,921	198,817	＋2,719	＋1.39%	×
	環境	ℓ	162,655	161,679	157,641	−5,014	−3.08%	◎
	全 社	ℓ	358,753	356,600	356,458	−2,295	−0.64%	○
CO2	本社	kg-CO2	524,877	521,728	524,786	−91	−0.02%	×
	環境	kg-CO2	493,924	490,960	472,337	−21,587	−4.37%	◎
	全 社	kg-CO2	1,018,801	1,012,688	997,123	−21,678	−2.13%	◎
水資源	本社	㎥	222.0	220.7	362.0	＋140	＋63.06%	×
	環境	㎥	1558.0	1,548.7	1,387.2	−171	−10.96%	◎
	全 社	㎥	1,780.0	1,769.4	1,749.2	−31	−1.73%	◎
再資源化率 ※2	工事	%	---	90.0%以上	89.4%	---		△
再資源化率 ※3	環境	%	---	90.0%以上	94.9%	---		○
エコ製品購入	全社	個 （品目）	3	9	9			

購入電力のCo2排出係数は、中部電力の2022年度公開数値に準じて、「0.433kg-Co2/kWh」を採用しています。

※1: 基準値は、第40期(R元年度)環境レポートの「7-2.環境経営目標」に記載した第38期～第40期(H29年度～R元年度)の平均実績値に基づきます。

※2: 再資源化率（工事）は、解体作業により発生した産業廃棄物の再資源化率です。

※3: 再資源化率（環境）は、受託した産業廃棄物の再資源化率です。

7-2. 環境への負荷の状況　＜取りまとめ表＞　本　社（工事部・営業部・総務部）【第43期】 2022年　7月～　2023年 6月

			単位	目標	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	合計	月平均
総エネルギー投入量		購入電力	kWh	45,809	3,750	4,396	4,662	3,654	2,939	3,398	4,597	4,873	4,176	3,582	2,828	2,854	45,709	3,809
総エネルギー投入量		化石燃料①	ℓ	194,921.0	10,263.1	9,277.6	8,277.8	9,054.1	13,665.4	18,398.8	17,956.5	20,441.6	21,524.5	23,370.8	22,716.3	23,870.4	198,817.0	16,568.1
総エネルギー投入量		化石燃料②	kg	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
■ 温室効果ガス排出量		二酸化炭素	kg-CO2	521,728	27,217	25,095	22,703	24,268	35,898	48,259	47,779	54,190	56,858	61,284	59,213	62,023	524,786	43,732
水資源投入量		上水道	㎥	220.7	16.5	14.5	14.5	13.0	13.0	14.0	14.0	80.5	80.5	13.0	13.0	75.5	362.0	30.2
総物質投入量		資源投入量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総物質投入量		循環資源投入量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	一般廃収集運搬量	t	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	産廃収集運搬量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	中間処理量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	内、再資源化量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	最終処分量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部 処理後	最終処分量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部 処理後	再資源化量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	再生化率	%	90%以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
■ 廃棄物等総排出量	工事部	排出量	t	----	186	103	92	95	190	369	148	179	87	97	366	181	2,093	174
■ 廃棄物等総排出量	工事部	内、再資源化量	t	----	166	92	82	85	170	329	133	161	78	87	326	162	1,871	156
■ 廃棄物等総排出量	工事部	最終処分量	t	----	20	11	10	10	21	40	15	18	9	10	40	19	223	19
■ 廃棄物等総排出量	工事部	再生化率	%	90%以上	89.2%	89.7%	89.5%	89.3%	89.2%	89.2%	89.7%	89.8%	89.2%	89.3%	89.1%	89.6%	89.4%	89.4%
雑紙リサイクル量		新聞	kg	----	7.0	7.0	38.0	0.0	9.0	70.0	9.0	0.0	16.0	0.0	10.0	13.0	179.0	14.9
雑紙リサイクル量		雑誌	kg	----	0.0	0.0	27.7	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.7	3.1
雑紙リサイクル量		段ボール	kg	----	2.0	0.0	49.0	0.0	0.0	40.0	5.0	0.0	14.0	0.0	0.0	3.0	113.0	9.4
雑紙リサイクル量		その他	kg	----	0.0	0.0	207.2	0.0	0.0	10.0	0.0	530.0	0.0	0.0	0.0	0.0	747.2	62.3
雑紙リサイクル量		合　計	kg	----	9.0	7.0	321.9	0.0	9.0	130.0	14.0	530.0	30.0	0.0	10.0	16.0	1,076.9	89.7
エコキャップ推進		エコキャップ	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エコキャップ推進		合　計	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※:■が付いている項目は必須項目です。 尚、総排水量の把握が困難な場合には「水資源投入量」が把握必須項目となります。

	単位	目標	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	合計	月平均
売上高	千円	----	87,254	116,606	113,057	156,243	113,982	95,569	116,330	108,776	103,781	123,461	97,428	166,788	1,399,275	116,606
kg-Co2／10万円		----	31.2	21.5	20.1	15.5	31.5	50.5	41.1	49.8	54.8	49.6	60.8	37.2	463.6	38.6

7-2. 環境への負荷の状況　＜取りまとめ表＞　環境事業部

【第43期】 2022年 7月～ 2023年 6月

			単位	目標	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	合計	月平均
総エネルギー投入量		購入電力	kWh	155,099	14,642	15,887	12,386	10,897	14,391	12,077	14,611	15,184	11,548	11,779	11,195	9,548	154,147	12,846
総エネルギー投入量		化石燃料①	ℓ	161,679.0	11,965.1	13,870.7	13,416.2	14,472.6	14,202.5	14,328.6	12,717.5	12,510.8	14,864.4	12,104.9	11,023.7	12,163.6	157,640.7	13,136.7
総エネルギー投入量		化石燃料②	kg	0.0	2.0	1.7	1.4	1.4	2.3	2.9	3.1	3.1	2.6	3.1	2.0	2.9	28.6	2.4
■ 温室効果ガス排出量		二酸化炭素	kg-CO2	490,960	37,118	42,551	39,876	41,976	42,798	42,140	38,971	38,767	43,265	36,258	33,204	35,414	472,337	39,361
水資源投入量		上水道	㎥	1,548.6	108.8	123.2	123.2	154.4	154.4	131.2	131.2	103.2	103.2	78.4	78.4	97.6	1,387.2	115.6
総物質投入量		資源投入量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総物質投入量		循環資源投入量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	一般廃収集運搬量	t	----	0.3	0.2	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3	0.0	0.3	2.6	0.2
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	産廃収集運搬量	t	----	1,929	1,787	1,882	1,977	2,001	2,144	2,025	1,977	2,072	2,001	1,977	2,049	23,822	1,985
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	中間処理量	t	----	2,516	3,077	4,057	3,007	2,392	3,910	4,318	3,355	7,385	4,308	4,365	7,069	49,758	4,147
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	内、再資源化量	t	----	2,192	2,745	3,748	2,706	2,034	3,505	3,892	2,954	6,901	3,916	4,012	6,465	45,069	3,756
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	最終処分量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部 処理後	最終処分量	t	----	188	346	140	123	137	248	249	167	229	408	364	222	2,823	235
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部 処理後	再資源化量	t	----	158	115	113	116	212	235	239	292	180	210	120	177	2,168	181
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	再生化率	%	90%以上	93.4%	92.9%	95.2%	93.8%	93.9%	95.6%	95.7%	96.8%	95.9%	95.8%	94.7%	94.0%	94.9%	94.9%
■ 廃棄物等総排出量	工事部	排出量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
■ 廃棄物等総排出量	工事部	内、再資源化量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
■ 廃棄物等総排出量	工事部	最終処分量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
■ 廃棄物等総排出量	工事部	再生化率	%	90%以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
雑紙リサイクル量		新聞	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
雑紙リサイクル量		雑誌	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
雑紙リサイクル量		段ボール	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
雑紙リサイクル量		その他	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
雑紙リサイクル量		合　計	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エコキャップ推進		エコキャップ	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エコキャップ推進		合　計	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※:■が付いている項目は必須項目です。 尚、総排水量の把握が困難な場合には「水資源投入量」が把握必須項目となります。

	単位	目標	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	合計	月平均
売上高	千円	----	22,096	26,066	28,272	30,706	31,074	33,866	29,833	28,080	38,614	30,131	24,035	25,599	348,372	29,031
kg-Co2／10万円		----	168.0	163.2	141.0	136.7	137.7	124.4	130.6	138.1	112.0	120.3	138.1	138.3	1,648.7	137.4

7-2. 環境への負荷の状況 ＜取りまとめ表＞ 全 社

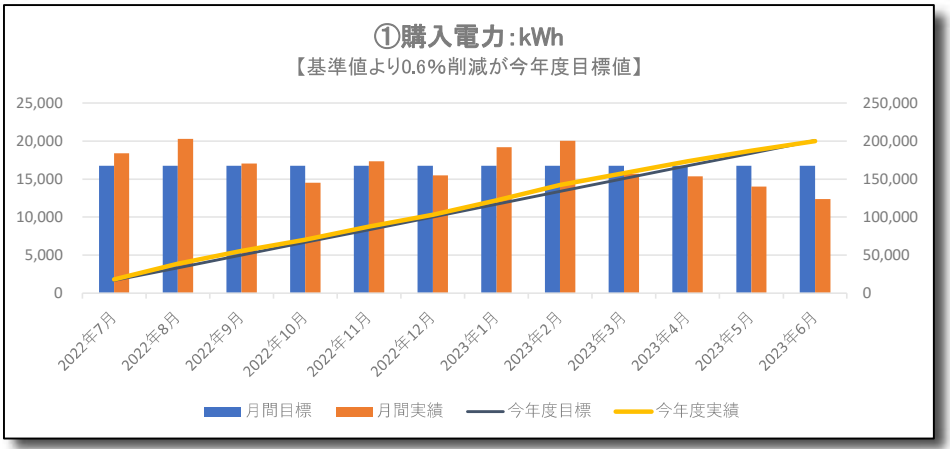
【第43期】 2022年 7月～ 2023年 6月

			単位	目標	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	合計	月平均
総エネルギー投入量		購入電力	kWh	200,908	18,392	20,284	17,048	14,551	17,330	15,474	19,208	20,056	15,724	15,361	14,024	12,402	199,856	16,655
総エネルギー投入量		化石燃料①	ℓ	356,600.0	22,228.3	23,148.3	21,694.0	23,526.7	27,867.9	32,727.4	30,674.0	32,952.4	36,388.9	35,475.7	33,739.9	36,034.0	356,457.7	29,704.8
総エネルギー投入量		化石燃料②	kg	0.0	2.0	1.7	1.4	1.4	2.3	2.9	3.1	3.1	2.6	3.1	2.0	2.9	28.6	2.4
■ 温室効果ガス排出量		二酸化炭素	kg-CO2	1,012,688	64,334	67,646	62,579	66,244	78,696	90,399	86,750	92,957	100,123	97,542	92,416	97,437	997,124	83,094
水資源投入量		上水道	㎥	1,769.3	125.3	137.7	137.7	167.4	167.4	145.2	145.2	183.7	183.7	91.4	91.4	173.1	1,749.2	145.8
総物質投入量		資源投入量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総物質投入量		循環資源投入量	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	一般廃収集運搬量	t	----	0.3	0.2	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3	0.0	0.3	2.6	0.2
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	産廃収集運搬量	t	----	1,929	1,787	1,882	1,977	2,001	2,144	2,025	1,977	2,072	2,001	1,977	2,049	23,822	1,985
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	中間処理量	t	----	2,516	3,077	4,057	3,007	2,392	3,910	4,318	3,355	7,385	4,308	4,365	7,069	49,758	4,147
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	内、再資源化量	t	----	2,192	2,745	3,748	2,706	2,034	3,505	3,892	2,954	6,901	3,916	4,012	6,465	45,069	3,756
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	最終処分量	t	----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部 処理後	最終処分量	t	----	188	346	140	123	137	248	249	167	229	408	364	222	2,823	235
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部 処理後	再資源化量	t	----	158	115	113	116	212	235	239	292	180	210	120	177	2,168	181
受託した産業廃棄物の処理量	環境事業部	再生化率	%	90%以上	93.4%	92.9%	95.2%	93.8%	93.9%	95.6%	95.7%	96.8%	95.9%	95.8%	94.7%	94.0%	94.9%	94.9%
■ 廃棄物等総排出量	工事部	排出量	t	----	186	103	92	95	190	369	148	179	87	97	366	181	2,093	174
■ 廃棄物等総排出量	工事部	内、再資源化量	t	----	166	92	82	85	170	329	133	161	78	87	326	162	1,871	156
■ 廃棄物等総排出量	工事部	最終処分量	t	----	20	11	10	10	21	40	15	18	9	10	40	19	223	19
■ 廃棄物等総排出量	工事部	再生化率	%	90%以上	89.2%	89.7%	89.5%	89.3%	89.2%	89.2%	89.7%	89.8%	89.2%	89.3%	89.1%	89.6%	89.4%	89.4%
雑紙リサイクル量		新聞	kg	----	7.0	7.0	38.0	0.0	9.0	70.0	9.0	0.0	16.0	0.0	10.0	13.0	179.0	14.9
雑紙リサイクル量		雑誌	kg	----	0.0	0.0	27.7	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.7	3.1
雑紙リサイクル量		段ボール	kg	----	2.0	0.0	49.0	0.0	0.0	40.0	5.0	0.0	14.0	0.0	0.0	3.0	113.0	9.4
雑紙リサイクル量		その他	kg	----	0.0	0.0	207.2	0.0	0.0	10.0	0.0	530.0	0.0	0.0	0.0	0.0	747.2	62.3
雑紙リサイクル量		合 計	kg	----	9.0	7.0	321.9	0.0	9.0	130.0	14.0	530.0	30.0	0.0	10.0	16.0	1,076.9	89.7
エコキャップ推進		エコキャップ	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エコキャップ推進		合 計	kg	----	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※:■が付いている項目は必須項目です。 尚、総排水量の把握が困難な場合には「水資源投入量」が把握必須項目となります。 ※各指標の値については、本社(工事部・営業部・総務部)と環境事業部の合計数値です。

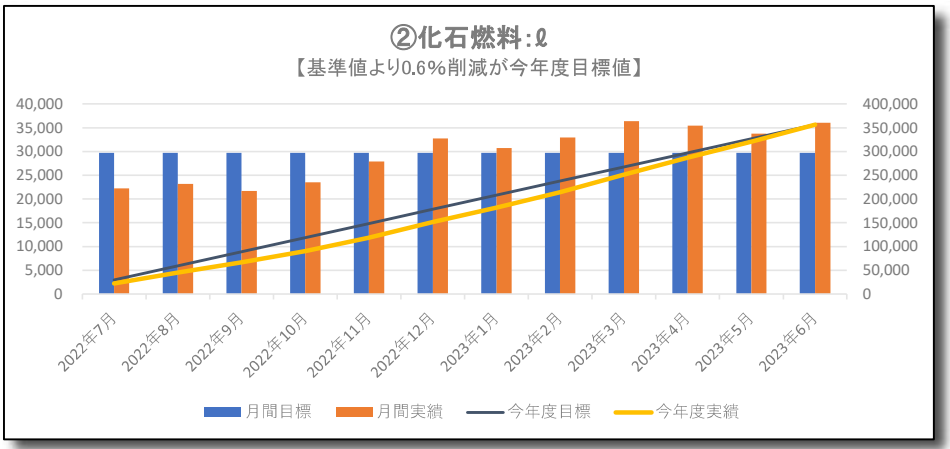
	単位	目標	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	合計	月平均
売上高／月	千円	1,450,000	109,350	142,672	141,329	186,949	145,056	129,435	146,163	136,856	142,395	153,592	121,463	192,387	1,747,647	145,637
kg-Co2／10万円（月）		69.8	58.8	47.4	44.3	35.4	54.3	69.8	59.4	67.9	70.3	63.5	76.1	50.6	697.9	58.2

7-3. 環境経営目標と全社実績　【第43期】



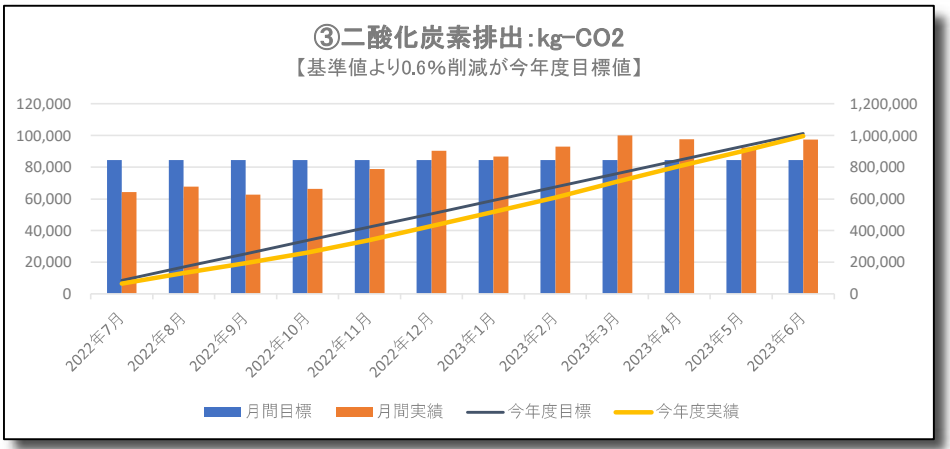
基準値: 202,121	目標値: 200,908 kwh	実績値: 199,856 kwh	削減率: ▲1.12%

デマンド器を活用したプラント稼働電力の制御が効果的に表れています。
8月、1月・2月に砕石設備の稼働が多くなり使用電力が上昇したが、年間実績としては目標を達成しました。



基準値: 358,753	目標値: 356,600 ℓ	実績値: 356,458 ℓ	削減率: ▲0.64%

3月～6月の化石燃料の使用量が目標値を大きく上回ったのは、遠隔地への稼働と大型重機の稼働が要因と考えられるが、年間実績としては目標を達成しました。



基準値: 1,018,801	目標値: 1,012,688 kg-CO2	実績値: 997,124 kg-CO2	削減率: ▲2.13%

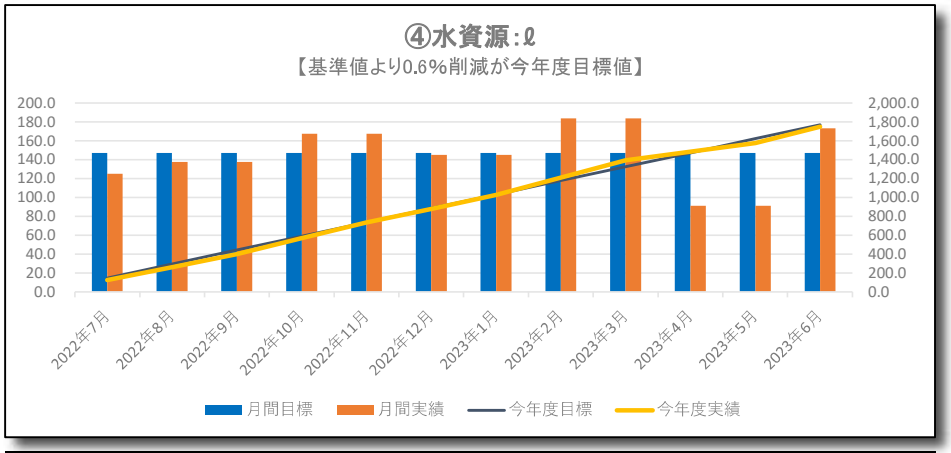
化石燃料による二酸化炭素排出量が多いため、後半(下期)に排出量が増加したが年間実績としては目標を達成しました。

【※中部電力排出係数:0.433kg-CO】

CO2排出係数	
購入電力	0.433kg-CO2/kWh

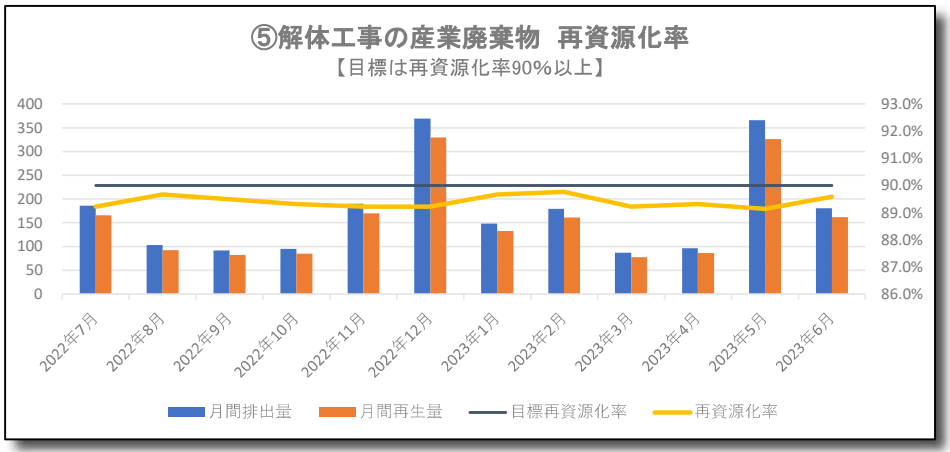
ガソリン	2.32kg-CO2/ℓ
軽油	2.58kg-CO2/ℓ
GTL	2.36kg-CO2/ℓ
灯油	2.49kg-CO2/ℓ
A重油	2.71kg-CO2/ℓ
LPG	3.00kg-CO2/kg
LNG	2.70kg-CO2/kg

7-3. 環境経営目標と全社実績　【第43期】



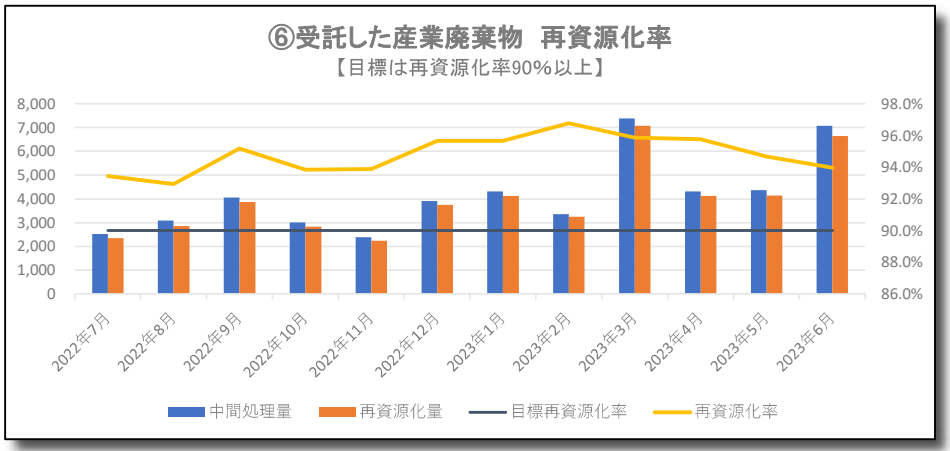
基準値： 1,780	目標値： 1,769 ℓ	実績値： 1,749 ℓ	削減率： ▲1.73%

雨の少ない時期は、防塵用の散水量が多くなってしまうが、年間実績としては目標を達成しました。



目標値： 90.0% 以上	年間： 89.4%	---

12月と5月に排出量が増加している。
再資源化率は90%近くを保持しているが、年間目標としては0.6%足りなかった。



目標値： 90.0% 以上	年間： 94.9%	---

受託した産業廃棄物の再資源化率は90%以上を達成しています。

7-4. 環境経営目標（次回 中期３ヶ年計画の指標となる）

(現)中期３ヶ年計画の実績及び平均実績（指標）　　３年目

項目	区分	単位	実績 第41期 R2年度 7月～6月	実績 第42期 R3年度 7月～6月	実績 第43期 R4年度 7月～6月	平均実績 次期3ヶ年計画の基準値
購入電力	本社	kWh	46,304	44,492	45,709	45,502
	環境	kWh	150,451	152,977	154,147	152,525
	全 社	kWh	196,755	197,469	199,856	198,027
化石燃料	本社	ℓ	185,295	247,090	198,817	210,401
	環境	ℓ	154,944	130,017	157,641	147,534
	全 社	ℓ	340,239	377,107	356,458	357,935
CO2	本社	kg-CO2	480,984	626,440	524,786	544,070
	環境	kg-CO2	457,369	394,084	472,337	441,263
	全 社	kg-CO2	938,353	1,020,524	997,123	985,333
水資源	本社	㎥	202.0	207.0	362.0	257.0
	環境	㎥	2,023.0	1,338.0	1,387.2	1,582.7
	全 社	㎥	2,225.0	1,545.0	1,749.2	1,839.7
再資源化率 ※1	工事	%	92.4%	93.0%	89.4%	91.6%
再資源化率 ※2	環境	%	93.7%	91.4%	94.9%	93.3%
エコ製品購入	全社	個（品目）	3	3	9	5

※1:再資源化率(工事)は、解体作業により発生した産業廃棄物の再資源化率です。

※2:再資源化率(環境)は、受託した産業廃棄物の再資源化率です。

7-5. 環境経営目標（次回 中期３ヶ年計画）

次期 環境経営目標

項目	区分	単位	基準値 ※1	中期3ヶ年計画 (0.6% 減)	目標 第44期 (0.2% 減) R5年度 7月～6月	目標 第45期 (0.4% 減) R6年度 7月～6月	目標 第46期 (0.6% 減) R7年度 7月～6月
購入電力	本社	kWh	45,502	45,229	45,411	45,320	45,229
	環境	kWh	152,525	151,610	152,220	151,915	151,610
	全 社	kWh	198,027	196,839	197,631	197,235	196,839
化石燃料	本社	ℓ	210,401	209,138	209,980	209,559	209,138
	環境	ℓ	147,534	146,649	147,239	146,944	146,649
	全 社	ℓ	357,935	355,787	357,219	356,503	355,787
CO2	本社	kg-CO2	544,070	540,806	542,982	541,894	540,806
	環境	kg-CO2	441,263	438,616	440,381	439,498	438,616
	全 社	kg-CO2	985,333	979,422	983,363	981,392	979,422
水資源	本社	㎥	257.0	255.5	256.5	256.0	255.5
	環境	㎥	1,582.7	1,573.2	1,579.6	1,576.4	1,573.2
	全 社	㎥	1,839.7	1,828.7	1,836.1	1,832.4	1,828.7
再資源化率	工事	%	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
再資源化率	環境	%	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
エコ製品購入	全社	個（品目）	5	9	10	11	12

※1：基準値は、直近3ヶ年（R2年度～R4年度）実績の平均値としました。

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

8-1. 実施した取組内容と評価

A:100～90%出来ている　B:90～70%出来ている　C:70～50%出来ている　D:50～30%出来ている　E:ほとんど出来ていない

1．二酸化炭素排出量の削減

(1)購入電力の削減【3年間で0.6%削減を目標】	担当部署	評価	評価内容	次年度の活動
冷房設定温度を28℃以上に、暖房設定温度を23℃以下にする	全社	A	ほぼ徹底されている。	継続
各事務所の蛍光灯を間引く。順次LED化	全社	A	順次LED化に変更している。	継続
自動販売機を省エネルギータイプに変更する	本社、環境	A		継続
デマンド器活用による電力ピークカット	環境	A	デマンド器活用により、破砕機と手選ラインを同時使用しない	継続
トイレ灯等の消し忘れ防止（人感スイッチの導入）	本社、環境	A	周知徹底により実施されている。	継続
クールビズ、ウォームビズを導入（全社員、来客者）	全社	A	クールビズ・ウォームビズは実施されている。	継続

(2)化石燃料の削減【3年間で0.6%削減を目標】		評価	評価内容	次年度の活動
アイドリングSTOPの励行（降車時はエンジンを止める）	全社	A	降車時のエンジンストップはほぼ実施されている。	継続
エコドライブの励行 「法廷速度遵守、急発進・急ブレーキ抑制」	全社	A	徹底されている。	継続
エコカーへ順次入替え（社有車入替えはハイブリッド車等に変更）	全社	B	順次入替えを実施している。	継続
重機の一部に天然ガス由来のGTL燃料を使用	工事	C	適時に実施している。	継続
ドライブレコーダの録画画像で安全運転、エコドライブのチェック	全社	A	実施されている。	継続

2．水資源の削減

【3年間で0.6%削減を目標】		評価	評価内容	次年度の活動
リサイクルプラントに於ける防塵散水に農業用水を利用	環境	A	実施されている。	継続
砕石プラントの防塵給水量を適正最少量に調整	環境	A	実施されている。	継続

3．再資源化率の維持・向上

【再資源化率90%以上維持を目標】		評価	評価内容	次年度の活動
リサイクル率の向上	工事、環境	A	目標値:90%以上ほぼ達成している。	継続
排出事業者への分別排出の推奨・提案	工事、営業環境	B	随時、提案している。	継続
廃棄物と有価物の分別	工事、環境	B	継続して実施している。	継続
雑紙・新聞紙・段ボール等の古紙のリサイクル推進	総務、環境	B	雑紙・新聞紙・段ボールは本社主体で行なっている。リサイクル率を上げると共に紙類の使用量を減量	継続
エコキャップ運動の推進	総務、工事営業	C	エコキャプの洗浄を要求されたため一時中断	継続

4．グリーン購入

【リサイクル商品・省エネ商品の積極的使用】		評価	評価内容	次年度の活動
エコマーク商品・省エネ商品の積極的購入（3品目以上追加／年）	総務	B	随時、該当品目を確認して購入している。	継続

５．地域住民から信頼される設備管理・運営

【リサイクル商品・省エネ商品の積極的購入】		評価		
		評価	評価内容	次年度の活動
点検表の活用による施設・重機・車両のトラブルの事前チェック	工事、環境	A	始業前点検、月次点検を実施している。	継続
設備の総点検チェック	工事、環境	A	定期的に実施している。	継続
解体工事着工前に近隣挨拶回り	工事、営業	A	実施している。	継続
プラント周辺・解体現場の粉塵防止の為、定期的に散水	工事、環境	A	実施している。	継続
整理・整頓・清掃の徹底。3Sチェックシートの月次記入・報告	全社	A	継続して実施している。	継続
プラント周辺道路の草刈り	環境	A	定期的に実施している。	継続
相良海岸の清掃奉仕活動・・・朋友会(社員会)、有志	全社	A	新型コロナのため、今年度は中止	継続

６．全社共通目標：【整理】【整頓】【清掃】

上記目標は“安全運転”“安全作業”の基本として、全社員の共通目標とする。

・ＥＡ２１各部担当者は、所属部署の３Ｓ状況をチェックし、毎月ＥＡ２１担当者会議で報告する。

・状況に応じて、ＥＡ２１各部担当者より部署会で改善・是正を勧告する。

７．ＳＤＧs宣言

ゴールの一つに「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」を掲げ、環境経営活動は全社的な活動と位置付ける。

8-2. 次期の環境経営計画

１．二酸化炭素排出量の削減

(1)購入電力の削減【3年間で0.6%削減を目標】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
夏季の冷房室内温度を27℃位に、冬季の暖房室内温度を20℃位にする	全社	→	→	→		社内統一（冷:7～9月、暖:11～3月）
各事務所の蛍光灯を間引く。順次LED化。	全社	→	→	→	→	全社・関係部署に周知徹底
自動販売機を省エネルギータイプにする。	本社、環境	→	→	→	→	全社・関係部署に周知徹底
デマンド器活用による電力のピークカット。	環境	→	→	→	→	全社・関係部署に周知徹底
休憩時の消灯。通路・トイレ灯など人感スイッチの導入による消灯。	本社、環境	→	→	→	→	全社・関係部署に周知徹底
夏季:クールビズ、冬季:ウォームビズの導入（全社員、来客者）	全社	C →	→	W →	C →	C:5～9月、W:11～3月

(2)化石燃料の削減【3年間で0.6%削減を目標】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
アイドリングSTOPの励行。特に降車時はエンジンを止める。	全社	→	→	→	→	全社・関係部署に周知徹底
エコドライブの励行 「法廷速度遵守、急発進・急ブレーキ抑制」など。	全社	→	→	→	→	全社・関係部署に周知徹底
ハイブリッド車等のエコカーへ順次入替え。	全社	→	→	→	→	全社・関係部署に周知徹底
重機の一部に天然ガス由来のGTL燃料を使用。	工事部	→	→	→	→	全社・関係部署に周知徹底
ドライブレコーダを活用して安全運転・エコドライブのチェック。	所属長	→	→	→	→	※所属長がチェック実施

２．水資源の削減

【3年間で0.6%削減を目標】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
リサイクルプラントの防塵散水に農業用水を利用。	環境	→	→	→	→	環境事業部に周知徹底
砕石プラントの防塵給水量を最少適正量に調整。	環境	→	→	→	→	環境事業部に周知徹底

３．再資源化率の維持・向上

【再資源化率90%以上維持、向上を目標】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
排出事業者への分別排出の推奨・提案。	工事、営業 環境	→	→	→	→	関係部署に周知徹底
廃棄物と有価物の分別。	工事、環境	→	→	→	→	関係部署に周知徹底
雑紙・新聞紙・段ボール等の古紙のリサイクル推進、紙使用の減量。	総務、環境	→	→	→	→	関係部署に周知徹底
エコキャップ運動の推進。	総務、工事 営業	→	→	→	→	※総務部にて集計

４．グリーン購入

【リサイクル商品・省エネ商品の積極的使用】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
エコマーク商品・省エネ商品の積極的購入。年間3品目は追加。	総務	→	→	→	→	総務部に周知徹底・実施

５．地域住民から信頼される設備管理・運営

【リサイクル商品・省エネ商品の積極的購入】	担当部署	実施計画 7月	10月	1月	4月	備　考（具体的方法）
始業点検表を活用して重機・車両トラブルの事前チェック。	工事、環境	→	→	→	→	関係部署に周知徹底
施設及び設備の定期的な総合点検・チェック。	工事、環境	→	→	→	→	関係部署に周知徹底
解体工事着工前の近隣挨拶回り及び説明。	工事、営業	→	→	→	→	関係部署に周知徹底
プラント施設周辺・解体現場の粉塵防止の為、定期的に散水。	工事、環境	→	→	→	→	関係部署に周知徹底
整理・整頓・清掃の徹底。3Sチェックシートの月次記入・報告。	全社	→	→	→	→	※担当者が定例会にて報告
プラント施設の周辺道路の草刈り。	環境				→	年1回実施（5月）
相良海岸の清掃奉仕活動・・・朋友会(社員会)、有志	全社		→			年1回実施（11月）

６．全社共通目標：【整理】【整頓】【清掃】

上記目標は“安全運転”“安全作業”の基本として、全社員の共通目標とする。

・各部のＥＡ２１担当者は、所属部署の３Ｓ状況をチェックし、毎月ＥＡ２１担当者会議で報告する。

・状況に応じて、各部のＥＡ２１担当者より部署会で改善・是正を勧告する。

７．ＳＤＧs宣言

ゴールの一つに『エネルギーをみんなに、そしてクリーンに』を掲げ、環境経営活動は全社的な活動と位置付ける。

9. 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況

（１）弊社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、以下のようになりました。

法令の名称	遵守事項	担当	適用を受ける設備	備考	遵守評価
大気汚染防止法	特定粉塵排出等作業	工事担当者	石綿含有物（飛散防止）	施工２週間前	○
浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃	事務員	浄化槽	１回/3ヶ月	○
	指定検査機関による定期点検			１回/年	○
騒音規制法（市町村）	特定施設の設置届出	工事担当者	破砕機・ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ	施工１週間前	○
	特定建設の作業届出		重機・ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ		
振動規制法（市長村）	特定施設の設置届出	工事担当者	破砕機・ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ	施工１週間前	○
	特定建設の作業届出		重機油圧ﾌﾞﾚｰｶｰ		
消防法	指定可燃物（廃プラ・紙・木・繊維くず）	環境事業部長	第２プラント保管場所	消防署への届出	○
廃棄物処理及び清掃に関する法律	収集運搬基準	運搬車両担当者	廃棄物運搬車輌	１回/5年	○
	産業廃棄物の保管基準	環境事業部長	廃棄物保管施設（保管量）	１回/5年	○
	施設管理基準	環境事業部長	破砕機	１回/5年	○
	廃棄物処理基準	環境事業部長	破砕機（処理量）	１回/5年	○
	ﾏﾆｭﾌｪｽﾄ管理・報告帳簿記載	事務/工事担当		１回/年	○
	多量排出業者報告	工事部長		１回/年	○
	産業廃棄物関係定期報告	環境管理責任者		１回/年	○
静岡県条例	処分業者の実地確認等	環境管理責任者		１回/年	○
フロン排出抑制法	保守点検	環境管理責任者	事業所、ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ	１回/3ヶ月	○
			重機、ｴｱｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ		
市条例	一般廃棄物	本社/営業所	フックロール車		○
労働安全衛生法	重機操作	重機作業者	重機		○
道路交通法	道路使用許可	運搬車両担当者	ダンプ、トラック フックロール、ユニック	使用１週間前	○
道路法	道路占用許可	工事担当者	ダンプ、トラック フックロール、ユニック	占用１週間前	○
建設リサイクル法	分別解体作業	工事担当者	解体物件（80㎥以上）	施工１週間前	○
電気事業法	電気設備の保安点検	事務員	電気設備	１回/2ヶ月	○
足場組立て	地上30m超える	工事担当者	仮設足場	施工２週間前	○

（２）違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘・利害関係者からの訴訟や苦情はありません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成：令和５年９月８日

1・見直し関連情報

	項　　目	確認（必要に応じて評価・コメント記載）	
1	エコアクション文書	☑	記録・文書として作成しました。
2	環境経営目標及び目標達成状況	☑	CO2 排出量は、購入電力・化石燃料の項目に於いて達成しました。
3	環境経営計画及び取組み実施状況	☑	継続して取り組みます。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☑	行政や有識者へ、都度相談・確認をして取り組みます。
5	外部コミュニケーション・対応記録	☑	特に問題ありません。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	□	
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	□	
8	その他	☑	EA21 環境管理責任者が交代しました。

■環境経営目標の達成状況

購入電力・化石燃料・二酸化炭素排出量・水資源投入量等は、全て年間目標を達成することが出来ました。（二酸化炭素排出量は、基準値より 2.13%削減）

■再資源化率

解体工事の再資源化率は 89.4%になり、目標値の 90%へは僅かに足りませんでしたが、受託した産業廃棄物の再資源化率は 94.9%で目標の 90%を達成しました。

■環境経営計画

各項目の具体事項は実施されているが、取組みのマンネリ化が出てきてしまう。
ＥＡ２１の活動内容等の告知が必要となります。

■前年度の「代表者による見直し・指示」に対して

・環境レポートの簡略化に関しては、①作業の手順書を作成、②環境負荷の取りまとめ表は自動計算化にして、月々の数値入力にてデータ構築可能として効率化を実現しました。
・ＥＡ２１担当者会議については、通常の会議内容ならば ZOOM でのリモート会議とします。

2・代表者による全体評価・見直し指示

第４３期(R4.07～R5.06)の後期は、新型コロナが収束方向に移行して国内外の経済活動も上向き傾向に向かうと思われていましたが、ロシアのウクライナ侵攻の長期化により原油価格・購入電力等が高騰しており、ＥＡ２１で掲げている各エネルギー使用量の削減が重要課題となり、企業活動にも強く直結するものとなってきました。

■全社の共通目標

引き続き『３Ｓ：整理・整頓・清掃』として、環境管理の基本となる３Ｓを徹底することで「経費削減・作業環境の安全化」を推進することを指示した。

■環境経営目標は、

先に述べたように原油価格・購入電力などが高騰のする中なので、目標を達成することは元より、更なる使用量の削減・コスト削減に向けて活動をするよう指示した。

■環境関連法規等の遵守

環境保全・安全衛生の観点も踏まえ、行政や有識者の指導を確認して取組むよう指示した。

令和５年９月 13 日　　株式会社 ハイナン
代表取締役　畑 大介

	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・(無)	令和４年７月に改訂しました。
2	環境経営目標	有・(無)	未達成になった解体工事の再資源化率は、特に注意して取り組みます。
3	環境経営計画	有・(無)	
4	環境に関する組織（実施体制決め）	有・(無)	
5	その他のシステム	有・(無)	
6	その他（外部への対応）	有・(無)	